

# 校長室だより 中部っ子

No.26-15号  
H26.11.20発行  
発行者  
出雲市立中部小学校  
校長 濱村 洋二

## 学習発表会がありました！

平成26年度の学習発表会を行いました。14日（金）に校内発表，15日（土）には地域・保護者の皆さん向けの発表を行いました。

新しい体育館で，初めての学習発表会です。広い体育館で，大きい声，大きい動きができるよう，一生懸命練習しました。また，小道具などの準備なども頑張りました。

当日は，全校の前で，あるいは地域や保護者の皆さんの前で，堂々と発表することができました。

### ◆児童代表あいさつ（1年生）



### ◆1年生 劇「おむすびころりん」



### ◆2年生 群読他「おとどけします，4つの季節を！」



### ◆3年生 劇「てぶくろを買いに」



### ◆4年生 劇「環境戦隊 マモルンジャー」



### ◆にこにこ会 劇「もりのせんたくやさん」



### ◆5年生 音楽メロディーにのせて 輝く未来へ



◆6年生 劇「希望のバトン」



◆エンディング【全校】

合唱「エル ドラド」～薺・がライ ケ～  
「祝いの手打ち」



◆児童代表あいさつ（6年生）



## 社会力を育む！

以前読んだ本の中で、興味深いものがありましたので紹介したいと思います。

これは、筑波大学 門脇厚司名誉教授が書かれたもので、近年の、大人たちの常識では考えられないような子どもや若者の犯す犯罪や事件、いじめや引きこもり、学習意欲の低下や他者を思いやる心の欠如など、悪しき事態や好ましからざる現象は、「社会力の衰退」ないし「社会力の欠如」に起因していると言われて見えて間違いないという考えです。

社会力とは、人が人とつながり社会を作る力。そして、よりよい社会を創ろうとする意欲と構想力（よきビジョンを考える力）と実行力（考えたことを実現する力）のことだそうです。

社会力を豊かに身につけた人間とは、いくつか定義があるようですが、その中のいくつかを挙げると、

① 人間が好きな人間

- ② どんな人ともうまくコミュニケーションできる人間
- ③ 他の人の身になり、立場に立って物事を考えられる人間
- ④ 物事に対して常に前向きに取り組もうとする人間
- ⑤ 自分も社会の一員であるという自覚がある人間
- ⑥ 自分の行動が他の人や社会の動向にどう影響するかを考えながら行動できる人間

などだそうです。

なかなか難しいことではありますが、まず大人がそのような姿を心がけ、そのような環境の中で子どもたちの社会力を育てていくことが大切なのではないでしょうか。

## お知らせ！

平成27年度の児童クラブ入会申込み受付が始まっています。ご存じのとおり、法改正により、小学校に就学している児童全員が対象となり、4年生以上も可能となりました。4年生以上で入会を希望される方は、直接中部児童クラブへお問い合わせください。なお、定員（61名）を越える場合は、1～3年生を優先するとのことです。

申込書は1月15日（木）必着です。

詳細は、中部児童クラブ（72-1350）へ。

## 中部っ子の活動の様子 10月の学習公開日(10/23)

10月の学習公開日でした。今回は、全学年、性に関する指導の内容です。

1年生は、「からだをきれいに」という学習をしました。

2年生は、島根県助産師会から2人の助産師の方に来ていただき、「誕生日ってなあに！」という学習をしました。

3年生は、保健体育の学習で、「身の回りの清けつ」という学習をしました。

4年生は、保健体育の学習で、「おとなに近づく体」という学習をしました。

5年生は、保健体育の学習で、「心の発達」と



いう学習をしました。

6年生は、「メディア  
機器と健康」という学習  
をしました。

お忙しいところ、たく  
さんの保護者の皆さんに  
来ていただきました。ありが  
とうございました。



## 学校保健委員会(10/23)

今年度の学校保健委員会は、「レクリエーションで楽しく交流しよう」～人間関係を体験的に学ぶグループワーク～と題して、しまねのふるまい推進指導員・健康運動指導士の山根さんに来ていただき、5・6年生と保護者の皆さん、職員で楽しい研修をしました。

最初のPTA会長さんのあいさつでは、学校が取り組んでいる「しまねのふるまい」についても触れていただきました。人間関係を上手に作っていく上でも、ふるまいはとても大切なものと考えます。

握手をしたりしながら、ふれあいを深め、苗字や名前、誕生日などいろいろなつながりで交流するなかで、子どもたちにも保護者の皆さんにも笑顔があふれていくのが見てとれました。

中には、同じ名前のお母さんが5人もおられびっくりでした。また、同じ誕生日3人組がいくつもあり、いろいろなつながりを改めて感じました。

また講師さんからは、人間関係を上手に作っていく上でも、「きちんと聞くことができる」ということはとても大切だと話がありました。

いろいろな体験を通して、いい研修ができました。保護者の皆さんの参加が思ったより少なかったのが少し残念でしたが、今回都合で参加されなかった皆さんには、次回はぜひ参加していただき



たいと願っています。

## 3年2組国語科研究授業(10/24)

3年2組で国語の研究授業が行われました。1組と同じく「サーカスのライオン」の学習です。この教材を使って、「お気に入りの本の紹介カードを作ろう」という単元です。

今日の学習のめあては、「じんざが何をしたかを読み取って、【こんなお話】にまとめよう」です。

挿絵と教科書の記述を参考に、それぞれの場面でじんざがしたことをまとめ、物語全体のお話を4～5文にまとめました。

途中でペア対話も入れ、友だちと意見を出し合いながら考えました。

短くまとめた人も、様子が少し詳しくわかるようにまとめた人もいました。読みたくなるように、終わり方を工夫している人もいました。

たくさんの先生に見られていても、とても集中して学習できました。



## 2年生校外学習(10/24)

2年生が生活科の学習で、ひかわ図書館へ見学に行きました。

広い部屋に、たくさんのお本があって、本を読むコーナーばかりでなく、お話をきく部屋やビデオを見るコーナーもありました。

たくさんある本に目うつり！どれを借りようか、いっぱいまいりました。

貸し出しや本を探す(検索)のもパソコンで簡単にできるようになっていました。



## 久木地区文化祭(10/25～26)

久木地区の文化祭が、原鹿の旧豪農屋敷を会場に開催されました。

久木コミセンのサークル活動の作品の展示や販売の他、健康フェアのコーナー、おもてなしのコ

ーナーなどもありました。

中部小学校からも習字や絵、詩などの作品を展示していただきました。また、コミセンのサークル活動として取り組んでいるお花の作品も展示してありました。

25日の午後には、中庭のステージで、斐川西中学校の吹奏楽の演奏や、フォークダンス、詩吟の発表もありました。

両日とも良い天気にも恵まれ、たくさんの方々に賑わったようです。



## 1年1組算数科研究授業(10/29)

1年1組で算数科の研究授業が行われました。子どもたちにとっては初めての研究授業で、たくさんの先生方に見られて、張りきったり緊張したりといろいろな姿を見せてくれました。

この時間は、「ひきざん」の単元で、繰り下がりのある引き算の計算方法を見つける学習です。数図ブロックを動かして計算方法を考えました。みんなで考えを出し合って、3つの方法が見つかりました。

ブロックを操作したことを言葉で書き表した後、ペアで紹介しあいました。

初めての研究授業、たくさんの先生方の前でしたが、しっかり学習できました。



## 避難訓練(10/30)

緊急地震速報が入り、地震が発生したという想定で、避難訓練をしました。

最初に机の下などの安全な場所に身を隠しました。放送や先生の指示を聞いて、上手に行動できました。

その後、全校が校庭の避難場所に避難しました。避難する時は、自分の頭を守るために教科書やノート、手などで頭を守りながら避難しました。

お（押さない）、は（走らない）、し（しゃべらない）、も（戻らない）に気をつけて避難しました。



全体での振り返りの後、その場で学級や学年ごとの振り返りをしている学年もありました。

ほとんどの児童は真剣に取り組めたようですが、一部に押したりしゃべったりした人がいたとの反省がありました。

訓練は、実際に災害に遭遇した時に上手に対応できるように行うものです。真剣に取り組みたいものです。



## 3年2組算数科研究授業(10/30)

3年2組で算数の研究授業が行われました。「1けたをかけるかけ算の筆算」の単元で、この時間のめあては、「むずかしい計算のやり方を考えよう」です。

23×3の計算の仕方を、今までに習ったことを使ってやる方法を考えました。初めに、一人一人考え、その後、3～4人のグループで話し合いました。自分の考えと比べながら、友だちの考えを聞きました。

全体的話合いでは、2つの方法が出ましたが、十の位と一の位を分けて計算すると便利であることがわかりました。

しっかり取り組みました。



## 2年生町探検発表会(10/30~31)

2時間を使って、「町探検発表会」をしました。発表内容を劇や紙芝居にし、それぞれのグループが工夫して発表しました。こうしたグループ発表は初めてのことなので、準備や練習、発表の仕方はまだまだのところもありました。でも、こうした経験が、次の学習に生かされると思います。子どもたちは、他のグループがどんな発表をするのかを、興味津々によく聞いていました。楽しく、そしていい時間が過ごせたようです。

